

≡ プレスリリース ≡

新サービス 報道関係者各位

2023年1月12日
株式会社スクウェイブ

スクウェイブ社による教育のエンタメ化 Cyber Cross ～情報セキュリティ教育等、社内教育がマンネリ化していませんか～

株式会社スクウェイブ(所在地:東京都千代田区、代表取締役:黒須豊、以下スクウェイブ)は、クロスワードパズルを解くことで楽しみながら知識学習を効率的に遂行することができる環境を開発しました(特許出願済:特願2022-167727)。企業など組織内の情報セキュリティ教育、管理職や新人教育、自己啓発など様々な分野での知識習得において、パズルを解き続ける遊びが学習になる世界を実現します。自社でオリジナルに作成したワード辞書(知識習得のもととなるデータ)は、利用はもちろんのこと、社外に販売することもできます。

ご紹介資料: <https://k2wave.com/slmet/CyberCross/AbstractCyberCross.pdf>

リーフレット(B2B向け): <http://k2wave.com/slmet/CyberCross/CyberCrossB2B.pdf>

Cyber Cross

GID: 9001
UID: 1001

正答率: 0%

正答数: 0
設問数: 21

ゲームモード
難易モード

サウンド
オフ

Created by M.Hayashi © 2023 Ksqwave Inc.

入力文字: アルファベット
マスの数: 12 × 12

ツイート [操作説明を開く](#)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1				T								
2	R									H		
3								P				
4												F
5												I
6			I			C						
7							I					
8								G				
9										O	R	
10				T		S						Z
11												
12	S	S						I		E		

選択した設問

ここに選択した設問の文章が表示されますので、横のカギを選択後にこちらで内容を確認ください

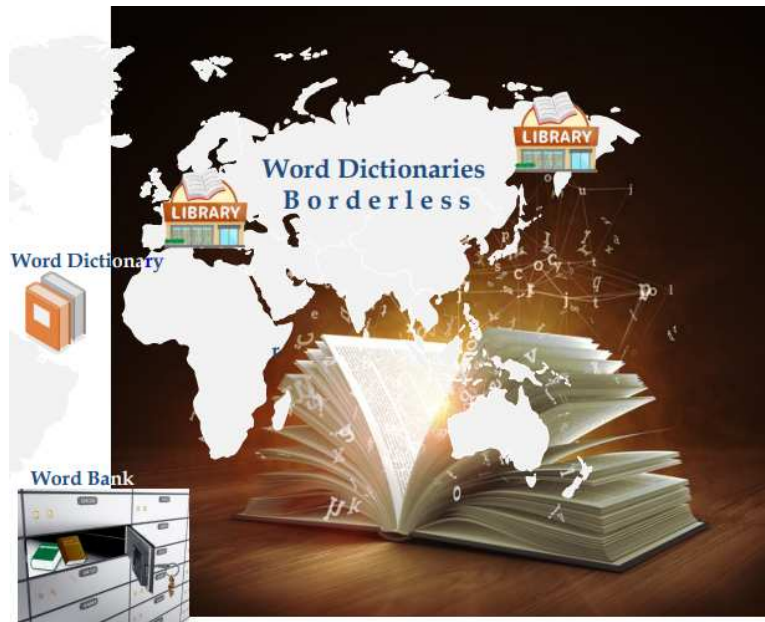
横のカギ (以下をクリック)

- [1,1] 証明書(デジタル証明書、電子証明書)
- [3,6] 認証毎に異なるパスワードを使用して、他者が認証されるリスクを抑制するパスワード機構
- [4,9] インターネット技術の標準化を実施して、RFC文書を発行している組織の略称
- [6,2] 個別のユーザに割り当てられる一意のコード番号(一般的にログインIDとは別)
- [6,6] 組織のセキュリティインシデントについてコーディネーション、サポート、対応を行う者たち
- [8,3] PKI(公的鍵証明書)にデジタル署名する主体: 認証局(英語略称)
- [8,6] accountability(説明能力)を確保するために、イベントの履歴を保持するファイル
- [9,9] 寄生先となるファイル等を必要せず、自己増殖するマルウェア
- [10,4] SSL 後継のセキュアプロトコルスキーム
- [12,1] BSD系 UNIX の r* コマンドを、チャレンジレスポンスの仕組みによってセキュアにしたプロトコル
- [12,7] inetd の上位互換性をもつスーパーデーモンで、よりきめ細かな設定が可能となっている

縦のカギ (以下をクリック)

- [1,1] 証明書失効リストの略称
- [1,4] 「□□□□□ horse」: トロイの木馬
- [1,7] 侵入/侵害
- [1,10] 脅威のこと
- [4,12] 修正プログラムのことで、patchとも呼ばれる。
- [8,4] 「POP3 □□□□」: 電子メール受信時の認証を指示するオプションのこと
- [8,10] 「■■■■■■ □□□□□ attack」: 総当たり攻撃の英語名称の2番めの単語
- [8,12] イントラネットとインターネットの中間部に設置するサブネットの通称(略称)
- [10,2] システムに対する侵入/侵害を検出・通知するシステムの略称
- [10,2] ネットワーク上で公開鍵暗号技術を用いて構築されるセキュア通信を実現するための環境

- クロスワードパズルは、1913年12月21日、「ニューヨーク ワールド」紙にイギリス生まれの記者アーサー・ウィンが制作した物が掲載されたのが最初と言われています、現在は、アメリカ、フランス、イギリス、イタリア、スウェーデン、ポーランド、イスラエル、日本等に普及しています。
- Cyber Crossは、世界中の組織や人々にご利用頂くことを前提として企画されました。様々な国の人々が作成したパズルを世界中の何処にいてもプレイすることが出来る環境が、Cyber Crossです。クロスワードパズル(問題)を生成する元となる知識集を「ワード辞書」と呼び、パズルとして出題するための「ワード」と「鍵」が必ずセットで登録されています。各ワード辞書は、有償版と無償版が存在し、どちらも「ワードバンク」と呼ぶ単位で登録管理することで、理論的に無数のワード辞書を利用することが可能です。
- デジタル仮想空間に存在する「ライブラリ」から専用のワードバンクに任意のワード辞書を登録することで無数のパズルをプレイ出来ます。Cyber Crossは、単にクロスワードパズルを解くだけでなく、知識学習を効率的に遂行する環境が整っています。社内教育はもとより受験対策等にご活用頂けます。



- Cyber Crossにおいては、有償・無償を問わず、公式のライブラリサイトに登録されたワード辞書を使ってプレイすることが出来るのは当然ですが、これに加えて、自らオリジナルのワード辞書を製作することが出来ます。
- スクウェイブは、ワード辞書を編集するための専用エディターを用意しています。この専用環境でオリジナルのワード辞書を作成・登録して頂くことで、自ら楽しむバリエーションが増えるだけでなく、それらのワード辞書をCyber Cross環境を通じて世界に販売することが出来ます。その場合、実際に売れたワード辞書についてはスクウェイブとリターンシェアすることで製作者自身に利益が還元されます。
- リターンシェアの割合は別途基本契約管理サイトに掲示されている通り売上額によって変動しますが、製作者の報酬は売上に対して最大95%という高い割合になっています。是非、創造的なワード辞書を作成して頂き、多くのプレイヤーを魅了することで同時に自らの報酬を得て下さい。



詳細は、以下ご紹介やカタログからもご覧いただけます。

まずは是非、デモ版をお試しく下さい。

はじめはこちらから👉 Cyber Cross 基本契約管理サイト
<https://k2wave.form.kintoneapp.com/public/cybercross-registration>



デモ版はこちら
Demonstration

https://k2wave.com/sltnet/CyberCross/demo/page00_01.html

ご紹介資料 : <https://k2wave.com/sltnet/CyberCross/AbstractCyberCross.pdf>

リーフレット (B2B向け) : <http://k2wave.com/sltnet/CyberCross/CyberCrossB2B.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社スクウェイブ 社長室
E-mail: reception@k2wave.com

※記載の会社名、製品名は、それぞれ会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

以上